

資料No.5-1

江田島市交流定住促進協議会
令和 7 年 3 月 2 6 日

令和 7 年度 江田島市交流定住促進協議会 事業計画（案）について

1 現状及び活動方針

本市では、人口減少・少子高齢化が急速に進んでおり、今後、人口減少による弊害が税収減、公共交通機関の利用者減、まちづくりの担い手不足など、広く悪影響を及ぼすことが危惧される一方で、令和 6 年度の人口の社会増減としては、市制開始から初めての増加となった。明るい兆しもある中、全体の人口減少には歯止めがかかっていないため、定住人口の拡大、特に自然増減の改善を図るため、若い世代の定住を促進する。

ひろしま暮らしサポートセンターからの報告では、全体の相談対応件数は、コロナ禍以降も年々増加しており、その中でも広島県内の瀬戸内エリアへの移住関心は依然として高い傾向にあると伺っている。属性としては、U・J ターン希望の相談が増えているとのことから、ターゲット層の絞り方も工夫しながら、都市部へのアクセスが比較的良好、かつ瀬戸内エリアに位置する本市の魅力を、より分かりやすく PR する必要がある。

本協議会では、市と関係団体等が連携し、市移住交流拠点施設「フウド」を中心とした移住相談対応、企業の誘引・相談対応、市内外の交流を通じて、移住定住促進及び交流人口・関係人口の拡大を目指す。

2 事業内容

(1) 移住交流拠点事業（外部委託事業）

移住交流拠点施設フウドにおいて、イベント・セミナー実施やワーケーションの受け入れ等を通じて、市内外の交流を図る。移住定住促進の拠点としてフウド運営を行う。

(2) 移住定住事業（外部委託事業）

移住希望者の相談対応、空き家バンクの物件内覧案内を引き続き行う。市が行う移住促進事業と連携し、移住促進を図る。

(3) 新規定住事業

新規移住者の獲得及び、既に移住された方の定住に向けたアフターフォローのため、移住体験ツアーの開催や移住者交流会を企画・実施する。（詳細は、資料 No. 5-3 のとおり）

(4) その他

その他必要に応じて取組を実施する。

資料No. 5-2

令和7年度 江田島市交流定住促進協議会 収支予算（案）

1 収入の部

(単位：円)

科 目	本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	比 較 増 減 (A)-(B)	内 訳	摘 要
1 補助金	8,350,000	7,272,000	1,078,000	補助金 補助金 (江田島市)	
				8,350,000 8,350,000	
2 受託料	0	0	0	受託料	
				0	
3 負担金	0	0	0	負担金	
				0	
4 雑入	210	210	0	雑入 貯金利息等	
				210 210	貯金利息
5 前年度繰越金	4,263	325,868	△ 321,605	前年度繰越金 前年度繰越金	
				4,263 4,263	繰越金
6 フウド収入	70,527	96,001	△ 25,474	フウド収入 フウド収入	
				70,527 70,527	フウド利用料(端数調整あり)
合計	8,425,000	7,694,079	730,921		

2 支出の部

(単位：円)

科 目	本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	比 較 増 減 (A)-(B)	内 訳	摘 要
1 事務費	10,000	10,000	0	事務費	
				10,000 10,000	
2 移住交流拠点 運営費	8,146,980	7,369,300	777,680	移住交流拠点運営費	
①フウド事業	5,781,980	5,004,300	777,680	①フウド事業費 必要費	
				5,781,980 1,096,280	
				燃料費 40,980	ガス代
				印刷製本費 32,000	フウドリーフレット増刷分、移住案内資料の更新
				光熱水費 533,300	電気代
				水道代 80,000	水道代
				下水道代 10,000	下水道代
				修繕 400,000	施設修繕費
				役務費 146,900	
				通信運搬費 108,000	電話代
				インターネット代 28,800	インターネット代
				手数料 10,100	振込手数料
				委託料 4,430,800	
				4,386,800	フウド運営委託料
				44,000	消防用設備等点検業務（フウド）
				賃借料 108,000	
				賃借料 108,000	パフォーマンスチャージ料
				その他 0	
				租税公課費 0	印紙代
②移住定住事業 費	2,365,000	2,365,000	0	②移住定住事業費	
				2,365,000	
				委託料 2,365,000	空き家内覧・移住相談対応など委託料
3 報償費	63,800	0	63,800	委員報酬費	
				63,800	
				市交流定住促進協議会委員報償費	5,800円×11名
4 旅費	3,020	10,860	△ 7,840	旅費	
				0	
				普通旅費 0	就職相談会開催に係る事務調整
				費用弁償 3,020	
				市交流定住促進協議会費用弁償	外部委員（広島市在住）
				3,020	
5 需要費	1,200	0	1,200	食糧費	
				1,200	
				市交流定住促進協議会お茶代	会議用お茶代
				1,200	
6 新規定住事業費	150,000	200,000	△ 50,000	新規定住事業費	
				150,000	移住者交流会の実施に係る費用
				150,000	移住ツアーの実施にかかる費用
7 負担金	0	0	0	負担金	
				0	
				負担金 0	
8 手数料	0	0	0	手数料	
				0	
				手数料 0	
9 予備費	50,000	103,919	△ 53,919	予備費	
				50,000	
				50,000	
合計	8,425,000	7,694,079	730,921		

資料No.5-3

江田島市交流定住促進協議会
令和 7 年 3 月 2 6 日

「江田島暮らしイメージツアー」について（案）

（１）概 要

これまで実施してきたツアーでは、江田島市の近隣市町で働く子育て世帯をメインターゲットとし、江田島市からでも仕事を変えずに通勤でき、島暮らしを実現できることを訴求することを目的にしてきたが、昨今の移住相談の傾向から、実施内容を見直し、首都圏のU・Iターン希望者も広く参加ができるように調整する。

ツアー内では「地域コミュニティ」「生活環境」「子育て環境」等をワンストップで案内し、より具体的な生活イメージの提供や居住環境等の情報提供を行う。

（２）目 的

問い合わせの多い「地域コミュニティ」「生活環境」「子育て環境」について、実際に来島し、肌で感じてもらうツアーを開催することで、江田島市を移住の候補地としていただくこと、及び移住の決断に際し抱えている不安の解消を図り、最終的には本市に移住をしてもらうこと。

（３）開催実績

実施年度	内 容	備 考
【令和 5 年度】 2022/7/23(日) <u>6 組 11 名 参加</u>	・ 空き家見学（3 件） ・ どんこ園 ・ 入鹿海岸・能美産直市場など	(参加者居住地内訳) 広島市 5・東広島市 1
【令和 6 年度】 2023/7/7（日） <u>5 組 10 名 参加</u>	・ 空き家見学（4 件） ・ OYSTER CAFÉ ETAJIMA ・ Kirikushi Coastal village ・ 海岸（切串）・能美産直市場など	(参加者内訳) 広島市 2・安芸郡 1・ 呉市 1・島根県 1

（４）ターゲット

（年齢層）

- ・ 子育て世代（30～40代を中心としたご家族）

（居住地）

- ・ 瀬戸内海エリアを移住先として検討している、首都圏の移住希望者
- ・ 利便性のほどよい島暮らしを希望している、近隣市町の移住希望者

(5) 内 容

項 目	内 容
開 催 日	令和7年9月下旬～10月上旬
訪問場所	・子育て世帯向け空き家（2～3軒） ・コミュニティスペース（未定） ・子育て世代包括支援センター（未定） ※応募者の属性や事前アンケートの結果により、内容を調整します。
参 加 費	食費実費（予定） ※首都圏からの参加者については、片道交通費補助・宿泊費補助などの補助金も活用できるよう、適宜調整を行う。
募集人数	3～4世帯（10名程度）
募集方法	募集チラシを作成の上、ポータルサイト・SNS媒体で周知する。